

## 【1】清張文庫開設の報告と御礼

▼一昨年11月、19期同窓会の場をお借りして松本清張さんの顕彰活動を紹介させていただき、その後、同級生から約100冊の献本の協力をいただきました。市民の皆さん全体では1,200冊です。おかげさまで、本年8月4日、小倉北区の足原市民センター内に、「あしはら清張文庫」として開設することができました。11月27日（月）には、小倉北区の霧丘中学校内に、「きりがおか清張文庫」を開設します。ご協力ありがとうございました。なお、「松本清張」の姓名は商標登録されていますので、「清張」名を使用するにあたり、松本清張記念館を通じ、東京の遺族の皆さんから書面で承諾をとっています。

## 【2】「神武天皇」講演会のご案内

▼今頃なぜ神武天皇と思うかもしれません。平成23年から、小学校の同級生が主催する古代史研究会【丁巳（ひのとみ）歴史塾】で、古代史研究家の『生野真好』氏の講演を聞いたのがきっかけとなり、真説『邪馬台国』論に相応しい学説にやっと巡り会いました。生存中に真実に巡り会えてよかったと感じるほど衝撃的な出会いの学説と考えています。

▼三国志の東夷七ヶ国それぞれの国の記述は全て国境から書き始めており、その記述方法には法則性があると指摘し、『国境記述法』と名付けた手法を用いて、倭人伝の古代朝鮮の帯方郡から邪馬台国までの行程を解説しています。

▼邪馬台国の場所について、過去に名だたる諸先生方が誰もできなかった、あるいは間違っていたことを、「何だ、ここだったのか」とコロンブスの卵のように、明快な手法で明らかにしています。この解説により過去から現在までの諸説は撃破され、やがて邪馬台国論争の終焉が来るのではないかと私の感想です。興味があるなら本書をぜひ読むことをお勧めします。生野真好著『魏志倭人伝解説』です。

▼邪馬台国の研究をしたら、邪馬台国～日本国の誕生【古事記、日本書紀】の流れで研究を続けるのが自然の流れ。今回の公演は、≪記紀解説シリーズ≫第二作『神武天皇一実在性と実年代の証明』です。なぜ神武かと疑問を持つ人のために、神武天皇に至るまでのこれまでの内容をかいつまんで説明するからです、興味がおありなら、良いチャンス。お勧めです。

▼「歴史科学」という造語を使っていますように論理の展開は本格派です。『魏志倭人伝解説』、≪記紀解説シリーズ≫①『日本国成立の日』そして今回の②『神武天皇』とも、超一級のドクター級の論文で、世に出たら、有名大学教授に迎えられると言っても過言ではない名著との感想を持っています。

▼学説の紹介など僕にできるわけないので、くどい文書になって済みません。興味がおありで、当日空いているなら、是非、出席をお勧めします。出席できなくても「生野史学」は読んでほしい学説です。

▼料金は、受講料1,000円です。あと、著書（資料として）1,728円（含・消費税）は任意購入ですが、是非、購読をお勧めします。間違いなく、超一級のドクター級の著書です。小倉高校同級生の溝尻由美夫くんは同塾の講演会に以前から受講しており、今度の同窓会にも出席しますので聞いてみてください。なお、「ドクター級」の論文云々は溝尻君と同先生の話をしているときに彼が言い始め、2人で共有した言葉です。

出席の返事を期待します。（小松康希）